

「盗んではいけないのは、どうして？」愛と自由に生きる⑨

出エジプト記20章1～17節



十戒の第八は「盗んではならない」という戒めです。財産や物だけではなく、最近は個人情報盗むということも話題になります。

聖書学者によれば、これは直接的には「人を盗む」ことを禁じる戒めです。古代だけでなく現代の社会でも拉致されて他国に連れて行かれる事件があったり、誘拐や人身売買が起こっています。生命、結婚に続き人間の自由を奪ってはならない。十戒はそれを明確に示します。

① それは持ち主に対してだけではなく、神に対する罪だから

“盗んではならない。…そのようにして、あなたの神の名を汚してはならない。わたしは主である。あなたの隣人を虐げてはならない。かすめてはならない。日雇い人の賃金を朝まで自分のもとにとどめておいてはならない。あなたは耳の聞こえない人を軽んじてはならない。目の見えない人の前につまづく物を置いてはならない。あなたの神を恐れよ。わたしは主である。” 比 記19:11-14

“私はあなたにただあなたの前に罪ある者です。私はあなたの目に悪であることを行いました。” 詩篇51:4

② 人の自由を盗むことから、神のものを盗むことまで

“人を誘拐した者は、その人を売った場合も、自分の手もとに置いている場合も、必ず殺されなければならない。” 出エジプト21:16

“人は、神のものを盗むことができるだろうか。だが、あなたがたはわたしのものを盗んでいる。しかも、あなたがたは言う。『どのようにして、私たちはあなたのものを盗んでしょうか』と。十分の一と奉納物においてだ。…” マラ3:8

③ 盗まないだけではなく、与える生き方に

“私たちの神よ。今、私たちは…このように自ら進んで献げる力を持っているとしても、私は何者なのでしょう、私の民は何者なのでしょう。すべてはあなたから出たのであり、私たちは御手から出たものをあなたに献げたにすぎません。” 1歴代29:13-

“さて、信じた大勢の人々は心と意思を一つにして、だれ一人自分が所有しているものを自分のものと言わず、すべてを共有していた。…彼らの中には一人も乏しい者がいなかった。” 使徒4:32-

“盗みをしている者は、もう盗んではいけません。むしろ、困っている人に分け与えるため、自分の手で正しい仕事をし、労苦して働きなさい。” 1ペテ4:28

<話し合ってみましょう>

- ・私たちが、様々な意味で「盗む」ということから自分を遠ざけるためには、どのようなことが必要だと思いますか。